

長島のさかなと元気をPR

第10回長島おさかな祭り

長島の新鮮な魚介類を味わい楽しみ、ブリの養殖日本一の町をPRする第10回長島おさかな祭りが、11月26日、薄井漁港で開催されました。

10回目を迎えた今回は、本町火ノ浦出身のプロ歌手「流星＊Breath」さんによる歌で開幕しました。

毎年恒例の模擬入札やブリの一本釣りに、オープニング前から長蛇の列ができていました。このほか、28隻の漁船が列をなしての漁船パレードや、大漁祈願餅投げ、お楽しみ抽選会や、芸能ショーなど来場者を楽しませていました。

が振る舞われ、長島のブリ料理を堪能しようと来場者が詰めかけ、お昼過ぎには完売するほど好評を得ていました。

ブリの一本釣りで、9^キを超える大物を釣り上げた笹峯陽一さん（霧島市）は「こんな大きなブリを釣り上げて感無量です。刺身としゃぶしゃぶ、アラ煮を味わいたい」と笑顔でこたえていました。

第10回という節目となった今回の祭りには、島内外から、前回の倍となる9230人が来場。芸能ショーで新沼謙治さんを迎えると、会場は溢れんばかりの人だかりができ、大いに盛り上がっていました。



多くの海産物も販売



大物をゲット、ブリの一本釣り



毎回人気の模擬入札



↑会場の目前を通過する漁船パレード



↑新沼謙治芸能ショーに沸く会場



↑長蛇の列ができたブリ料理の試食

沿道の花ばなを楽しみながら

第4回長島つわぶきウォーキング

11月23日、役場前駐車場をスタート・ゴールとする第4回長島つわぶきウォーキングが開催されました。この日は、長島の秋の花街道を歩き楽しもうと、850人が参加しました。

コースは、赤崎橋パーキングパークを折り返す7^キと、塩追集落を通り、川床ふれあいの郷で折り返す13^キの2コース。参加者らは思い思いのペースで、沿道に黄色く花咲くツワブキの花やマリーゴールドの花などを楽しみながら歩いていました。

各コースの折り返し地点では、ふかしたサツマイモやお茶などが振る舞われ、参加者らをもてなしていました。この日、鹿児島市から参加した池田美義さん夫婦は「長島にはよく来て

いるが、ウォーキング大会には初めて。長島の景色を楽しみながら後半も頑張りたい」と笑顔を見せていました。

ゴール後は、地域おこし協力隊の甲斐友也さんが作った豚汁とご飯が振る舞われ、参加者らの労をねぎらいました。



↑ツワブキの花を楽しみながらウォーキング



↑花文字で参加者を応援